



千葉 伸太郎

医療法人愛仁会太田睡眠科学センター／
東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科学教室

当初成人の亜型として扱われていた小児 OSA ですが、
この 15 年で研究が飛躍的にすすんできました。

しかしながら、本邦の臨床に目を移すと課題が満載で、
医療として満足できるレベルではありません。

一度立ち止まり、これから何をすべきか、問いかける
お話をできればと思います。